

いよいよ明日から7月ですね。夏休みまで、学校に来る日は13日になりましたよ。今日も暑いですが、がんばっていきましょう。校長先生の言葉は皆さんの心に届いていますか？

先週から、文字のお話をしています。みなさんの大すきな漢字、ひらがなを教えてくださいとお願いしますと、たくさんの書き込みをいただきました。ありがとうございます。何という漢字が多かったと思いますか？「愛」という文字が一番多くありました。あと、彩、萌、翼など習っていない漢字、自分の名前の漢字を書いてくれたお友だちが多かったようですね。書いていただいたみなさん、ありがとうございました。そして漢字やひらがななどの文字は、気持ちを伝えたり、情報のやりとりだけでなく、心の様子も伝えてくれるのですね。校長先生もあらためて勉強になりました。

さて、文字にはこのように漢字、そして1年生が最初に習う文字、ひらがな、カタカナ、他に私たちの身に周りにはどんな文字がありますか？

英語、アルファベットもありますね。では、これらの中で一番最初に生まれた文字はどれでしょうか？

実は、この4つの中ではアルファベットが一番古く、今から3500年ほど前にエジプトのあたりでうまれました。ちなみに、アルファベットの最初の文字Aは実は象形文字なのですが、もともとは何の形からできているかわかりますか？

そう、牛なのですね。

漢字が生まれたのは、今から3300年前の中国、「殷王朝」です。その次がカタカナ、少し遅れてひらがながうまれました。このカタカナとひらがな、二つ合わせた言い方を「カナ文字」と言います。

さて、小学生が習う漢字が約1000、中学、高校で習うのが約1000、だいたい2000字ぐらいの漢字を知っていれば日常生活は可能と言わ

れています。でも、漢字はそれが全てではなく、全部で8万とも10万とも言われ、膨大な数の漢字が実はあります。

これら漢字は一斉にうまれたのではなくて、だんだんと増えていったのですね。あたらしいところでは、「梱む」とか「糰」なんていう漢字は最近できた漢字です。

逆に一番最初にうまれた漢字は何という漢字でしょうか？

少しまわりの人と聞き合ってみてください。

それらの中で、一番最初にできた漢字は、「卜」「占」という漢字と考えられています。というのも、もともと漢字は占いのときに使われたからなのです。

亀が死んだとあとの甲羅に穴をあけ、そこに焼けた鉄の棒を入れると、熱さで甲羅がポクッという音をたててヒビが入ります。

そのときのヒビの形が「卜」で、そのヒビの入りで、今年は暑くなりそうとか、雨が多いみたいなどの予言を書いたそうです。また、そのときの甲羅の割れる音が「ポクッ」というので占いという漢字の音読みは「ポク」なのです。

このように、世界で初めて生まれた漢字は亀の甲羅を使ったので、甲骨文字とよばれます。

ところで、みなさんの国語の教科書には、物語や説明文、詩や俳句なども載っています。この甲骨文字は、さきほどお話しましたように、占いを書き残したのですが、なぜ占いだったのでしょうか。物語でも詩でも、あるいは日記でも、作文でも何を書いてもいいのに、なぜ占いが世界で一番最初の漢字で書かれた文章なのでしょうか。

これが今週のお題です。今日も最後まで静かに聞いていただきありがとうございました。